

龍谷大学校友会会報



【校友総数 164,000名】
2013年(平成25)3月20日
第76号
発行=龍谷大学校友会
編集=校友会広報部会
http://www.ryukoku.ac.jp

京都市伏見区深草塚本町67
龍谷大学内
校友会事務局
TEL075-645-2015
FAX075-645-2017

ホームカミングデーin瀬田：2面
硬式野球部 卓球部創部100年：3面
追悼井上博道さん・校友Mios Who：4面
法学部・社会学部同窓会周年事業：5面
校委会委員長・ビジネスミーティング：6面
校友会支部を全国に：7面
校友会支部のお店：8面
仏教に学ぶ・校友のお店：8面

Ryukoku Univ. Alumni News No.76

校友会ホームページが大刷新 ～ 4月から本格始動～

龍谷大学校友会のHPが大きく変わる 校友参加型のサイトへ



新しく生まれ変わった龍谷大学校友会のホームページ (写真はイメージです)

昨年11月のHP改訂に続き、今年4月からはいよいよ本格的にリニューアルされる。

これまでのHPは、校友会から卒業生に向けての「情報発信型」だったが、4月からは卒業生からの情報も受け取りながら運営する「情報共有型」を目指す。リニューアルのポイントは

新しいコンテンツの概要はこちら

①校友会支部の紹介

国内外で活動している地域支部・職域支部を紹介。校友が参加できる支部、参加できる支部のイベントが見つかりやすくなります。

②校友タウン情報

校友がオーナーのお店・会社・寺院・事務所などを幅広く紹介。「龍大卒業生で作るタウンページ」というイメージ。ご近所に校友のお店や寺院があることの発見や、龍卒生だけの特典を付けてくれるという嬉しい情報も。(こちらは投稿型のコンテンツのため、龍大校友会のHPから投稿いただけます。ご投稿の際には掲載に当たっての注意事項を必ずご確認ください)

ワクワク感! ドキドキ感!

③活躍する校友

有名なあの方も龍大生という実感、この方も龍大生だったのか!という驚きの発見。龍大生は国内のみならず海外でも幅広く活躍されています。

④校友数珠つなぎ

その名の通り、校友が校友を紹介しながらつながっていく近況報告のページ。懐かしいあの人を発見するワクワク感! いつか自分にまわってくるかもしれないというドキドキ感! をお楽しみください。

最新情報をお知らせ下さい

皆様の最新情報(新しい住所・勤務先、改姓など)をお知らせ下さい。また、ご友人でこの会報が届いていない方にも、その旨お知らせ下さい。

- ご通知は下記のいずれかで
①FAX=075-645-2017 (本会報送付宛名用紙をご利用下さい)
②http://www.ryukoku.ac.jp/koyu_form/ 校友会HPからアクセスできます
③e-mail=koyu@ad.ryukoku.ac.jp
④郵送=本会報送付宛名用紙の「郵便はがき」をご利用下さい

大雪になるという天気予報があった日、東京支部の集まりに参加しました。来るわ来るわ、新卒の若者から80歳を超える先輩まで、また女性の参加も多く出席者は70名を超えました。

緒方支部長をはじめ、支部役員方の生き生きとした動きと、盛り沢山のアイデアが活かされています。参加者を飽きさせない工夫がちりばめられ、西

大雪になるという天気予報があった日、東京支部の集まりに参加しました。来るわ来るわ、新卒の若者から80歳を超える先輩まで、また女性の参加も多く出席者は70名を超えました。

来前支部長からの「女性と若者の参加者を!」という熱い想いが初の女性支部長を生み、花開いた印象を強く感じた次第です。

「女性と若者の参加者を!」という熱い想いが初の女性支部長を生み、花開いた印象を強く感じた次第です。

卒業生の現場の声こそ

三村峯男

そのルーツは、校友会草創期の宇野秀方氏・濱口大蔵氏・山崎昭見氏へと続く歴代会長方からの「皆んなでやる」「皆が生き生

換し、談笑しながらメールアドレスをやりとりする光景は、このエネルギーが校友会の確かな将来と、様々な社会貢献の活動が予見

用具販売のあるOBは「肉体的にも精神的にも高齢者介護の現場は、教室で習ったこととは大きく違うよ。まずは慣れる

真の意味で現役の学生諸君の就職活動に活かせることができるのは、そうした実践から導き出される卒業生の言葉と考える。

さよなら旧13号館

60年代から90年代前半まで「13号館」と呼んできた深草キャンパス現1号館が、今年1月に姿を

消した。龍谷大学は親鸞聖人700回大遠忌の事業として総合大学化をはかり、60

年(昭和35)に深草キャンパスを開設、翌61年4月に経済学部が創設された。「13号館」がさつそうと深草キャンパスに姿を現したのは、2年後の63年5月。しかし、建物は東側のみで、西側の増築は65年のことになる。

入學・卒業式は、13大(13号館大教室)で行われた。およそ50年にわたり深草キャンパスの「主役」をつとめ、多くの龍大生の青春を支え、見守り続けてくれた旧13号館(1号館)。「さよなら」



姿が消えた旧13号館(1号館) = 12年夏に撮影



次期会長に村上太胤さん

三村峯男 校友会長の任期満了に伴い、校友会会長に村上太胤(むらかみ・たいいん)さんが次期校友会会長に選出された。任期は13年4月1日(16年3月31日)。村上さんは69年文学部卒。法相宗大本山薬師寺副住職、校友会副会長を現任。



65年(昭和40)に増設される前の旧13号館。手前は旧5号館

三村峯男校友会長の祝辞(右)



第23回となる龍谷賞贈呈式が12年11月4日、深草・顕真館で開催された。龍谷賞はタイの貧困家庭を長年にわたり支援してきた登世岡浩治さんに贈呈され、龍谷奨励賞・特別賞には若手の女性校友3人が選ばれた。

「龍谷賞」贈呈式

ホームカミング・デー in 瀬田



秋晴れの中、集う校友



「卒業15周年のつどい」



「卒業生・恩師のつどい」

社会学部同窓会「卒業15周年のつどい」国際文化学部同窓会「卒業生・恩師のつどい」瀬田キャンパスで毎年10月末の土・日曜日の学園祭に併せ、卒業生のホームカミング・デーが開催されている。美しい紅葉が彩りを添えた瀬田キャンパスは多数の校友や市民が訪れ、一年で最も活気づく。



理工学部研究室公開＝岡田研究室デジタルアーカイブによって復元されたベゼクリク9号窟の展示

工学部の「研究室公開」。植村研究室のロボカップ世界大会参加報告や岡田研究室の中国ベゼクリク第9号窟のデジタル復元。タッチパネルにメッセージを録音するとアイコン(記号)として表示される「未来の伝言板」。外村研究室の学生によるこの「未来の伝言板」はNHKの番組でも紹介された。

12年度「校友総会」を開催

12年度の校友総会が11月4日深草キャンパス顕真館で午前11時より開催された。

例年のように校友会の三村峯男会長挨拶のあと、11年度の校友会事業報告と決算・監査報告が行われた。さらに町田徳男・校友会総務部会長により12年度の基本方針と予算の説明と続いた。質疑応答に入ってから、大学がよくなってほしいという卒業生の思いが、大学にどこまで伝わっているのか「校友会をもっと活性化するために、広く卒業生の声を汲み上げるべきだ」「龍谷ミュージアム寄付金の未払いに



校友総会

たや、これまで応援して下さったかたがたのおかげです。感謝申し上げます。小西美加さん代理の大阪レイビィーハニース球団代表「私たちは、引退後のセカンドキャリアの支援を行っています。そのための国家資格取得試験で小西選手は欠席させていたでいております。ぜひ女子プロ野球と小西選手にご注目下さい。合宿中の瀨瀬真寿美さんに代わって龍谷大学陸上部・西出勝監督「龍谷大学陸上部からは高岡寿成さん(93年卒)」と瀨瀬さんの2人がオリンピックに出場しています。高岡さんは大日山グランドまで走って、瀨瀬さんは瀬田グランドまで毎日歩いて練習へ。そういう日々の努力があったからこそ、日本記録を出せたのです。今後とも瀨瀬さんを応援して下さい。

龍谷賞に登世岡浩治さん
タイ貧困家庭の少女を10数年間、就学支援



▲受賞のよろこびを語る登世岡さん

登世岡浩治さん(とよおか・こうじ) 52年文学部真宗学科卒業。94年タイのバンコクで開催の「平和シンポジウム」で広島の被爆体験を語ったことが機縁となり、広島日タイ友好協会会員(04〜10年まで同協会会長)となる。以来、タイ北部の貧困家庭の少女達の就学支援を行い、これまでに約1500人に援助。02年に勲5等双光旭日章、11年にタイ王室からマヒドン・ワラスーン賞を受賞。広島市在住。

奨励賞

櫻木厚子さん フィンランド放送交響楽団で活躍
小西美加さん 日本女子プロ野球 MVP 選手



▲櫻木厚子さん

流オーケストラの数々のオーデイションを経て現在、フィンランド放送交響楽団でトランペット奏者として活躍中。在学中の98〜00年には龍谷大学吹奏楽部のレギュラーメンバーとして、のちの全学大会8連続金賞受賞に寄与。高知県出身でヘルシンキ在住。



▲小西美加さん

短期大学部社会福祉学科卒業。09年に日本女子プロ野球機構によるドラフトで全チームから1位指名を受ける。08・12年の女子野球ワールドカップ優勝に投打にわたり貢献。11年には女子プロ野球特別賞を受賞。07年と09年(ふちせ・ますみ) 09年経済学部経済学科卒業。陸上競技の競歩で在学中に龍谷大学校友会賞と京都市スポーツ特別賞を受賞。07年と09年(ふちせ・ますみ) 09年経済学部経済学科卒業。陸上競技の競歩で在学中に龍谷大学校友会賞と京都市スポーツ特別賞を受賞。07年と09年



▲瀨瀬真寿美さん

本人過去最高の11位に。現在、徳島県鳴門市の大塚製菓陸上部に所属。受賞のコメント 登世岡浩治さん「龍谷賞受賞のお話を聞いたとき「まさか」と思いました。龍谷大学を卒業して60年目にあたる年に、栄誉ある賞をいただき、この賞に恥じないように、これからも活動していきたいと思っております。櫻木厚子さん「このように素晴らしい賞をいただくことができたのは、吹奏楽部の関係者の皆様からのご注目下さい。合宿中の瀨瀬真寿美さんに代わって龍谷大学陸上部・西出勝監督「龍谷大学陸上部からは高岡寿成さん(93年卒)」と瀨瀬さんの2人がオリンピックに出場しています。高岡さんは大日山グランドまで走って、瀨瀬さんは瀬田グランドまで毎日歩いて練習へ。そういう日々の努力があったからこそ、日本記録を出せたのです。今後とも瀨瀬さんを応援して下さい。

たや、これまで応援して下さったかたがたのおかげです。感謝申し上げます。小西美加さん代理の大阪レイビィーハニース球団代表「私たちは、引退後のセカンドキャリアの支援を行っています。そのための国家資格取得試験で小西選手は欠席させていたでいております。ぜひ女子プロ野球と小西選手にご注目下さい。合宿中の瀨瀬真寿美さんに代わって龍谷大学陸上部・西出勝監督「龍谷大学陸上部からは高岡寿成さん(93年卒)」と瀨瀬さんの2人がオリンピックに出場しています。高岡さんは大日山グランドまで走って、瀨瀬さんは瀬田グランドまで毎日歩いて練習へ。そういう日々の努力があったからこそ、日本記録を出せたのです。今後とも瀨瀬さんを応援して下さい。

02年(平成14)、オプテックス(株)の産業用センサー事業部を「オプテックス・エフエー」として分社化させ、代表取締役社長に就任した、法学部76年(昭和51)卒の小國勇さん。05年8月、大証ヘラクレスに上場(現在はジャスタックに市場統合)して以来、快進撃を続けている。そこで京都市下京区の京都リサーチパーク内にある本社を訪れ、まずはオプテックス・エフエー社の製品について、小國社長に尋ねた。

世界最高峰の技術で成長をとげるオプテックス・エフエー(株)

経営者登場

小國 勇さん



プロフィール

小國 勇(おぐに・いさむ) = 52年(昭和27)生まれ。76年(昭和51)法学部法律学科卒業(小畑雄治郎ゼミ)。81年に竹中エンジニアリング(株)からオプテックス(株)に入社し、防犯センサーや自動ドアセンサーなどの事業を担当。02年に同社の産業用光センサー部門(オプテックス・エフエー)を分社し、代表取締役社長に就任。現在、社員は約112人で、売上は約50億円。京都市在住。

産業用センサーで一部上場へ

ここで①空のボトルが流れている部分②飲料を充填する部分③充填した量の計量④キャップが正しいかどうか⑤ボトルに巻いたシールが正しく装着されているかどうか⑥キャップの部分のロットNo.や日付が間違っていないかなどの検査をすべて光センサーや画像センサーで行っているのです。

もし不良品があれば瞬時に管理室にデータが送られ、次の工程で除去し、最終的に梱包の段階まで、全てを色々なセンサーでチェックします。ジュースのボトルであれば、1日何十万本という単位で生産されます。これを人間の目でチェックすることは100%不可能です。大リーガーのイチローがいくら動体視力が超人的でも、とてもセンサーにはかないません。産業用センサー、光セン

サは、無人で自動化して大量に物が生産されるときに必ず使われます。飲料、化粧品、自動車の部品、半導体など、センサーが活躍する分野は多種多様です。センサー技術は、日本が世界トップの位置にあるという。この分野では、日本の技術が世界最高の水準です。中国ではたくさんコピー製品が出回っていますが、性能や耐久性で比較になりません。

液体の表面のひずみや、半導体ウエハーの検出となると、かなり高いレベルな技術が要求されます。当社の段差検出センサーは0.02ミクロン(10万分の2ミリ)までチェックできます。当社の製品の販路は約70%が主に海外で、特にヨーロッパで高い評価を受けています。

現在、オプテックス・エフエー社は、製品のブランド化を積極的に行っている。そのコンセプトとは、当社のブランドを業界で定着させるため、新しく「ファスタス」というロゴマークを作りました(写真参照)。「FA」と言えば、業界関係者ならすぐ「ファクトリー・オートメーション」と頭に

浮かべます。このFAに付加価値を足すということから、ファスタスと造語しました。当社の製品パナフレットでは、「高品質、だけど低価格」とうたっていきます。本当は合理的価格がないので、インパクトが「ファスタス」のブランド名は、おかげさまで徐々に浸透しつつあります。

最後に、企業理念と目標を尋ねた。「お客様の満足」「会社の成長」「社員の幸福」の三つのキーワードのもとに進めています。行きつく先は、やはり「社員の幸福」です。当社はこの分野では、参入10年ほどの後発企業で、前進あるのみです。近い将来、先発企業を追い抜き、東証一部上場を果たしたい。そのためには、お客様にご満足いただける製品づくりをしなければなりません。



オプテックス・エフエー社の検査セット

600人の前で樽開きと乾杯



硬式野球部

大学日本一へ前進



北野尚文さんによる講演

創部100周年を祝う

硬式野球部と卓球部

1913年(大正2)に創部された龍谷大学硬式野球部が100周年を迎え、12月25日、記念講演・祝賀会が京都ホテルオークラで開催された。硬式野球部は100年の歩

みの中で、多くの高校野球指導者やプロ・社会人野球選手を輩出してきた。とくに戦後の総合大学化の中で、野球部の活躍が大学や学生を勇気づけてきた。また昨年の全日本大学野球選手権では強豪チームを退けてベスト4に輝き、創部100周年に花を添えた。

25日当日は県立福井商業高校野球部監督として合計36回、同校を甲子園大会に導いた北野尚文さん(68年経済卒)龍谷奨励賞(特別賞)による「私と高校野球」と題する記念講演会が開催された。

祝賀会に移って、600人の参加者でうめつくされた会場で、まず小松玄澄実行委員長が謝辞を述べた。来賓として赤松徹真学長、関西六大学野球連盟会長で京都産業大学学長の藤岡一郎氏、駒澤大学硬式野球部元監督の太田誠氏が祝辞を述べ、池永悠紀雄・関西六大学野球連盟理事長(63年文学卒)を中心に樽開きと乾杯(写真上)が行われた。特別功労者として龍谷大学硬式野球部初代監督の故・西村進一さん、故・

流水熙章さん、前監督の足立兼敏さん、現監督の榎木寛さん、及び3人の現役選手が表彰された。続いて龍谷大学のバトン・チアと吹奏楽部の演技、演奏が行われ、会場は大きく盛り上がった。最後に榎木監督とOB・OG会会長の山田豊さんが閉会の挨拶を述べ、龍谷大学の硬式野球部新監督となる投手コーチの山本樹さんが紹介された。

今回の祝賀会出席者の一部を紹介すると、日本学生野球協議会役員、関西六大学・関西学生野球連盟に所属する監督と部長、30校の高校野球部監督、プロ野球7球団のスカウト、社会人野球監督、大手スポーツメーカー部

卓球部の先駆者

卓球部

2月9日、大宮キャンパスに龍谷大学の卓球部関係者、約70人が遠近各地から集合した。卓球部のはじまりは、「龍谷大学三百年史」によると1913年(大正2)9月、庭球部内にピンポン部が新設されたことである。日本に卓球協会が設立される8年前のことである。

ほとんど早稲田大の選手との戦いは、日本学生卓球史上に残る名勝負だったと言われる。こうした輝かしい歴史を誇る龍大卓球部が、再び輝き出すのは中国ナショナルチームの一員で世界チャンピオンだった王会元さんが、88年(昭和63)に留学生として龍大に入学してからだった。90年から96年にかけて、女子ダブルスと共に次々と全日本学生を制覇した。現在、卓球部は伊達浩憲教授が部長、王会元さんが監督をつとめる。男女共に関西学生二部リーグに所属し、とくに女子はインカレで、2年連続ベスト8に輝いている。当日、まず大宮本館講堂で「創部百周年記念法要」がとめられた。正面左側には部に功績のあった早矢仕健司・元部長や佐々木慶哉さん、月崎昭見さんの遺影が掲げられ、読経の中で焼香し、導師の河原弘雄さんが法話をして故人を偲び、百年の歩みを振り返った。その後、清和館2階でむらさき会(OB・OG会)の矢野善樹会長が司会をして祝賀会が進められ、功労者の表彰が行われた。また、この記念法要祝賀会にさきかけ、2月3日には兵庫県加古川市で「龍谷大学創部百周年記念卓球大会・今井良春杯」が開催され、県内外の600人も小・中学生が熱戦をくりひろげた。



龍吟会創立50周年祝賀会(お知らせ)

「龍谷大学龍吟会」が50周年を迎えるにあたり、現役員と卒業生の実行委員会が記念誌の編纂と祝賀会などの記念事業に取り組んでいます。祝賀会は本年10月13日(日)を予定。案内状が届いている卒業生は、至急に龍吟会へお申し込み下さい。郵送先〒612-8577京都市伏見区深草塚本町67「龍谷大学学術文化局・龍吟会 渡辺」まで。

校友 Who's Who

林家染二さん



林家染二(吉田忠史)85年(昭和60)龍谷大学法学部卒業。84年に現四代目染丸に入門し、芸名は染吉。93年NHK新人演芸大賞優秀賞、96年・大阪文化祭奨励賞。98年・文化庁芸術祭演芸部門優秀賞。99年・龍谷奨励賞。04年・上方お笑い大賞最優秀技能賞、文化庁芸術祭演芸部門優秀賞。08年・天満天神繁昌亭大賞など。

和現。龍谷大学法学部卒業。84年に現四代目染丸に入門し、芸名は染吉。93年NHK新人演芸大賞優秀賞、96年・大阪文化祭奨励賞。98年・文化庁芸術祭演芸部門優秀賞。99年・龍谷奨励賞。04年・上方お笑い大賞最優秀技能賞、文化庁芸術祭演芸部門優秀賞。08年・天満天神繁昌亭大賞など。

和現。龍谷大学法学部卒業。84年に現四代目染丸に入門し、芸名は染吉。93年NHK新人演芸大賞優秀賞、96年・大阪文化祭奨励賞。98年・文化庁芸術祭演芸部門優秀賞。99年・龍谷奨励賞。04年・上方お笑い大賞最優秀技能賞、文化庁芸術祭演芸部門優秀賞。08年・天満天神繁昌亭大賞など。

和現。龍谷大学法学部卒業。84年に現四代目染丸に入門し、芸名は染吉。93年NHK新人演芸大賞優秀賞、96年・大阪文化祭奨励賞。98年・文化庁芸術祭演芸部門優秀賞。99年・龍谷奨励賞。04年・上方お笑い大賞最優秀技能賞、文化庁芸術祭演芸部門優秀賞。08年・天満天神繁昌亭大賞など。

和現。龍谷大学法学部卒業。84年に現四代目染丸に入門し、芸名は染吉。93年NHK新人演芸大賞優秀賞、96年・大阪文化祭奨励賞。98年・文化庁芸術祭演芸部門優秀賞。99年・龍谷奨励賞。04年・上方お笑い大賞最優秀技能賞、文化庁芸術祭演芸部門優秀賞。08年・天満天神繁昌亭大賞など。

和現。龍谷大学法学部卒業。84年に現四代目染丸に入門し、芸名は染吉。93年NHK新人演芸大賞優秀賞、96年・大阪文化祭奨励賞。98年・文化庁芸術祭演芸部門優秀賞。99年・龍谷奨励賞。04年・上方お笑い大賞最優秀技能賞、文化庁芸術祭演芸部門優秀賞。08年・天満天神繁昌亭大賞など。

和現。龍谷大学法学部卒業。84年に現四代目染丸に入門し、芸名は染吉。93年NHK新人演芸大賞優秀賞、96年・大阪文化祭奨励賞。98年・文化庁芸術祭演芸部門優秀賞。99年・龍谷奨励賞。04年・上方お笑い大賞最優秀技能賞、文化庁芸術祭演芸部門優秀賞。08年・天満天神繁昌亭大賞など。

龍大卒業後すぐには？ ええ、4年生の9月7日でしたか、当時の染二師匠の自宅を「タウンペー」で探して押しかけました。「君お金あるか」「ないです」「まずは卒業しなさい」「明日からカバンを」と、9月11日から師匠のお宅に通うようになりました。

「写真部に入らないか」と声をかけられた。戦後の復興が緒についたばかりで、まだ腹いっぱい食べられる時代ではなかったが、龍谷大学でも、スポーツ、文化、それぞれの部が、学内でポスターを貼り、ビラを配って部員を募集していた。

「カメラを持っていません」と答えたら、「貸してあげるから、入らなさいよ」といわれた。大宮学舎の片隅の小さな部屋に連れて行かれて、自己紹介した。これが井上さんのカメラマンとしての出発点であった。入部の勧誘をしたのは、現・修験宗総本山聖護院門跡門主の宮城泰年さんであった。二人の交友は終生続いた。

井上さんを撮影に熱中させる被写体が、大学の周囲に沢山あった。西本願寺である。彼が当時愛用していたのは、縦長の弁当箱のような形をした2眼レフのリコー・フレックスであった。極彩色の豪華絢爛の唐門、桃山文化の粋を極めた書院、聚楽第から移築したといわれる

飛雲閣、そして、大屋根が広がる御影堂、阿弥陀堂…。カメラを持ち、ちよと目でNHKに出たんです。ようやくここで優秀賞をいただきました。昔は漫才と落語がひとつの部門になっていて、大賞は漫才の「爆笑問題」でした。「同じスタートを切ったのに、出世のスピードはえらい違うよね」

目でNHKに出たんです。ようやくここで優秀賞をいただきました。昔は漫才と落語がひとつの部門になっていて、大賞は漫才の「爆笑問題」でした。「同じスタートを切ったのに、出世のスピードはえらい違うよね」

目でNHKに出たんです。ようやくここで優秀賞をいただきました。昔は漫才と落語がひとつの部門になっていて、大賞は漫才の「爆笑問題」でした。「同じスタートを切ったのに、出世のスピードはえらい違うよね」

目でNHKに出たんです。ようやくここで優秀賞をいただきました。昔は漫才と落語がひとつの部門になっていて、大賞は漫才の「爆笑問題」でした。「同じスタートを切ったのに、出世のスピードはえらい違うよね」

目でNHKに出たんです。ようやくここで優秀賞をいただきました。昔は漫才と落語がひとつの部門になっていて、大賞は漫才の「爆笑問題」でした。「同じスタートを切ったのに、出世のスピードはえらい違うよね」

追悼 古仏のこころと風物 卓越の画像で表現

井上博道さん

太田 信隆



「カメラを持っていません」と答えたら、「貸してあげるから、入らなさいよ」といわれた。大宮学舎の片隅の小さな部屋に連れて行かれて、自己紹介した。これが井上さんのカメラマンとしての出発点であった。入部の勧誘をしたのは、現・修験宗総本山聖護院門跡門主の宮城泰年さんであった。二人の交友は終生続いた。

井上さんを撮影に熱中させる被写体が、大学の周囲に沢山あった。西本願寺である。彼が当時愛用していたのは、縦長の弁当箱のような形をした2眼レフのリコー・フレックスであった。極彩色の豪華絢爛の唐門、桃山文化の粋を極めた書院、聚楽第から移築したといわれる

飛雲閣、そして、大屋根が広がる御影堂、阿弥陀堂…。カメラを持ち、ちよと目でNHKに出たんです。ようやくここで優秀賞をいただきました。昔は漫才と落語がひとつの部門になっていて、大賞は漫才の「爆笑問題」でした。「同じスタートを切ったのに、出世のスピードはえらい違うよね」

目でNHKに出たんです。ようやくここで優秀賞をいただきました。昔は漫才と落語がひとつの部門になっていて、大賞は漫才の「爆笑問題」でした。「同じスタートを切ったのに、出世のスピードはえらい違うよね」

目でNHKに出たんです。ようやくここで優秀賞をいただきました。昔は漫才と落語がひとつの部門になっていて、大賞は漫才の「爆笑問題」でした。「同じスタートを切ったのに、出世のスピードはえらい違うよね」

目でNHKに出たんです。ようやくここで優秀賞をいただきました。昔は漫才と落語がひとつの部門になっていて、大賞は漫才の「爆笑問題」でした。「同じスタートを切ったのに、出世のスピードはえらい違うよね」

目でNHKに出たんです。ようやくここで優秀賞をいただきました。昔は漫才と落語がひとつの部門になっていて、大賞は漫才の「爆笑問題」でした。「同じスタートを切ったのに、出世のスピードはえらい違うよね」

井上博道さんが、初めてカメラを手にしたのは、龍谷大学文学部で3年生になった昭和27年(1952)の春であった。戦後の復興が緒についたばかりで、まだ腹いっぱい食べられる時代ではなかったが、龍谷大学でも、スポーツ、文化、それぞれの部が、学内でポスターを貼り、ビラを配って部員を募集していた。

井上さんを撮影に熱中させる被写体が、大学の周囲に沢山あった。西本願寺である。彼が当時愛用していたのは、縦長の弁当箱のような形をした2眼レフのリコー・フレックスであった。極彩色の豪華絢爛の唐門、桃山文化の粋を極めた書院、聚楽第から移築したといわれる

飛雲閣、そして、大屋根が広がる御影堂、阿弥陀堂…。カメラを持ち、ちよと目でNHKに出たんです。ようやくここで優秀賞をいただきました。昔は漫才と落語がひとつの部門になっていて、大賞は漫才の「爆笑問題」でした。「同じスタートを切ったのに、出世のスピードはえらい違うよね」

目でNHKに出たんです。ようやくここで優秀賞をいただきました。昔は漫才と落語がひとつの部門になっていて、大賞は漫才の「爆笑問題」でした。「同じスタートを切ったのに、出世のスピードはえらい違うよね」

目でNHKに出たんです。ようやくここで優秀賞をいただきました。昔は漫才と落語がひとつの部門になっていて、大賞は漫才の「爆笑問題」でした。「同じスタートを切ったのに、出世のスピードはえらい違うよね」

目でNHKに出たんです。ようやくここで優秀賞をいただきました。昔は漫才と落語がひとつの部門になっていて、大賞は漫才の「爆笑問題」でした。「同じスタートを切ったのに、出世のスピードはえらい違うよね」

目でNHKに出たんです。ようやくここで優秀賞をいただきました。昔は漫才と落語がひとつの部門になっていて、大賞は漫才の「爆笑問題」でした。「同じスタートを切ったのに、出世のスピードはえらい違うよね」

目でNHKに出たんです。ようやくここで優秀賞をいただきました。昔は漫才と落語がひとつの部門になっていて、大賞は漫才の「爆笑問題」でした。「同じスタートを切ったのに、出世のスピードはえらい違うよね」

いよいよ落語家になりました

「カメラを持っていません」と答えたら、「貸してあげるから、入らなさいよ」といわれた。大宮学舎の片隅の小さな部屋に連れて行かれて、自己紹介した。これが井上さんのカメラマンとしての出発点であった。入部の勧誘をしたのは、現・修験宗総本山聖護院門跡門主の宮城泰年さんであった。二人の交友は終生続いた。

井上さんを撮影に熱中させる被写体が、大学の周囲に沢山あった。西本願寺である。彼が当時愛用していたのは、縦長の弁当箱のような形をした2眼レフのリコー・フレックスであった。極彩色の豪華絢爛の唐門、桃山文化の粋を極めた書院、聚楽第から移築したといわれる

飛雲閣、そして、大屋根が広がる御影堂、阿弥陀堂…。カメラを持ち、ちよと目でNHKに出たんです。ようやくここで優秀賞をいただきました。昔は漫才と落語がひとつの部門になっていて、大賞は漫才の「爆笑問題」でした。「同じスタートを切ったのに、出世のスピードはえらい違うよね」

目でNHKに出たんです。ようやくここで優秀賞をいただきました。昔は漫才と落語がひとつの部門になっていて、大賞は漫才の「爆笑問題」でした。「同じスタートを切ったのに、出世のスピードはえらい違うよね」

目でNHKに出たんです。ようやくここで優秀賞をいただきました。昔は漫才と落語がひとつの部門になっていて、大賞は漫才の「爆笑問題」でした。「同じスタートを切ったのに、出世のスピードはえらい違うよね」

目でNHKに出たんです。ようやくここで優秀賞をいただきました。昔は漫才と落語がひとつの部門になっていて、大賞は漫才の「爆笑問題」でした。「同じスタートを切ったのに、出世のスピードはえらい違うよね」

目でNHKに出たんです。ようやくここで優秀賞をいただきました。昔は漫才と落語がひとつの部門になっていて、大賞は漫才の「爆笑問題」でした。「同じスタートを切ったのに、出世のスピードはえらい違うよね」

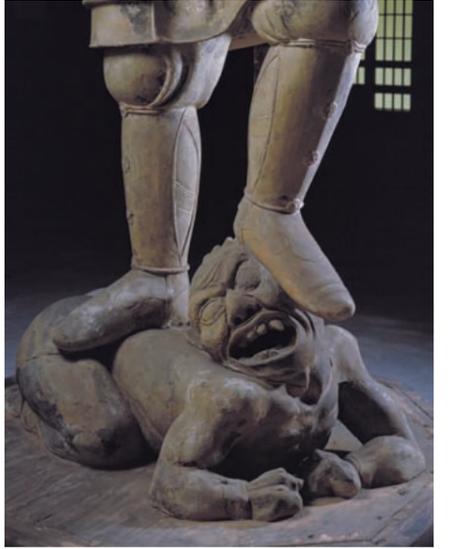
目でNHKに出たんです。ようやくここで優秀賞をいただきました。昔は漫才と落語がひとつの部門になっていて、大賞は漫才の「爆笑問題」でした。「同じスタートを切ったのに、出世のスピードはえらい違うよね」



落語会「龍大落語会」で林家染二さん(大阪・繁昌亭)の主催者として出演



写真提供=BAN INOUE



東大寺戒壇院の邪鬼

頭を下げたら、どこにも入らせてもらえなかった。司馬遼太郎さんと知り合ったのは、その頃であった。司馬さんは大学と宗教を担う産経新聞の記者で、しよっちゅう本願寺に来ていた。

井上さんは、写真コンテストに何回も入選し、その道では知られていた。

司馬さんの随筆「華厳をめぐる話」の中に「東大寺と井上博道のこと」という一章がある。

「井上博道の写真は、そのころから個性的だった。建物を撮った写真が多かったが、指頭でたんねんに蠟質をのばしたように粘りのある翳をもった作品で、ときにヴァンクの名画を思わせた」

井上さんは、日本海に面した兵庫香住町(現香美町)の禅寺の長男に生まれた。写真を続けたので、産経新聞の入社試験を受け写真部に配属された。司馬さんが身元保証人になってくれた。

文化面の編集をしていく司馬さんが、新しい企画を立てた。――奈良や京都にはたくさんのお仏像がある。そこに目立たないが、すぐれた脇役がいる。それを見つけて新たな美を発見する。井上さんは司馬さんのこの企画に大の乗り気で、時には二人一緒に取材に出かけた。週一回「美の脇役」というタイトルで、3年間連載された。好評で、後に単行本にまとめて出版された。

井上さんは、独立して東京に出ようと考へて司馬さんに話したら「君が奈良、京都を離れ、上京して何になる」と諭された。それから、井上さんは畿内の寺社、旧跡を中心に、四季の風景や行事を独特の美的感覚で捉えて作品にした。

「東大寺」(中央論公論社)「奈良 大和路」(京都書院)「奈良万葉」(奈良市)「隠れた仏たち」(学生社)「室生寺」(淡交社)「大和路の野の花」(文化出版局)など、刊行された写真集は枚挙にいとまがない。このうち、「東大寺」などは、ずっしりとした横長の本で、重さが2キロを超えるものもある。

雪まじりの表参道で 老若男女 70 余名が 学歌を大斉唱



2月6日(水)、東京支部が「第4回・新入会員歓迎!& 校友年賀会」を開催。おおいに盛り上がりました。

法学部同窓会40周年

宝塚大劇場で観劇 ホテルで祝賀会

法学部同窓会設立40周年記念事業として、宝塚大劇場の観劇と宝塚ホテルでの記念祝賀会が12年9月15日(土)に開催された。大劇場では町田徳



2階席まで満席の宝塚大劇場

「マグロ解体ショー」

また、ホテル

男法学部同窓会長の挨拶に続き、宝塚歌劇団「宙組」の組長からのメッセージのあと、「銀河英雄伝説」が開演。今回は新トップ・娘役のお披露目公演ということもあり、大劇場は25000人をこえる校友とその家族で満員となり、迫力ある舞台を堪能した。

その後、宝塚ホテルでの記念祝賀会に移り、赤松徹眞学長をはじめとした大学関係者や、退職者を含めた法学部の教員、卒業生が一堂に会し、会場のあちこちで再会の歓声が上がった。司会は法学部出身の関西テレビの山本浩之アナウンサーが担当。さらに同アナと同級生の林家染二師匠も加わり、にぎやかで楽しい祝賀会となった。

社会学部同窓会20周年

桑田真澄氏講演会 交流懇親会と抽選会



大盛況の交流懇親会

シェフによる「マグロ解体ショー」や宝塚ホテルオリジナル料理、さらに豪華賞品が当たる大抽選会など、盛りだくさんのイベントが行われた。「運営面で至らない部分もあったものの、一人でも多くの卒業生とそのご家族に楽しんでもらいたい」との町田会長のこ

とばのもとに、一丸となって進めた。「参加の校友をはじめ、大劇場とホテル関係者の皆様に感謝申し上げたい」と同窓会スタッフの弁。次の50周年に向けてさらに弾みをつける40周年記念事業となった。



桑田氏の講演会

「なつかしい仲間や恩師との再会」をキャッチフレーズに2月24日、社会学部同窓会設立20周年記念事業が開催された。会場となったホテルグランドヴィア京都には、元プロ野球選手の桑田真澄氏の講演会に、約400人の校友や一般市民が訪れた。

「試練が人を磨く」と題した講演会では、桑田氏がこれまでの輝かしい野球人生の中で何度か訪れた危機を乗り越えることにより、人は成長するのだと体験にもとづいた話に多くの参加者が引き込まれた。

午後5時から始まった第2部の交流懇親会では、次々と会場に顔を見せた恩師と卒業生が久しぶりに出会い、随所で歓談の声があがった。

まず社会学部同窓会の荒川林太郎会長が挨拶。続いて三村峯男校友会会長と池田勉副学長が祝辞を述べ、宴がスタートした。クライマックスは総額150万円相当の景品が当たる「記念抽選会」。思いもよらぬ品物を手にした多くの校友の笑顔が会場にあふれた。

経営学部同窓会 同窓会に支援金

これまで文短・経済・法・理工・社会学部の各同窓会が10人以上のクラスやゼミ同窓会に支援金を支給してきましたが、経営学部同窓会も同様の支援を4月1日より行うことになりました。詳しくは経営学部同窓会ホームページをご覧ください。
<http://www.ryukoku.biz/>

友線 校最前線

石坂省悟さん アップル法律事務所

06年(平成18)に法学部、09年に同大学法科大学院を卒業、翌10年には司法試験に合格し、1年間の司法修習を経て弁護士となった石坂さん。あまり勉強しなかつたと言っ学生時代の思い出や、弁護士2年生としての取り組みなどを話した。

の受験生が泊まるホテルの一室を借り、受験生の不安を取り除くために声をかけアドバイスしたり、入学前には新入生歓迎パーティーを、深草や瀬田でやりました。

弁護士2年生です

また、生協食堂のメニューの考案や機関紙の制作、下宿生向けの料理教室、整備士さんによる「バイクチェック」、夏にはビアパーティーなど、そんなことばかりやっていたので、勉

強する時間はありませんでした(笑)。私は奈良県の葛城市在住で、桜井高校出身です。龍大の推薦入試で法学部の志望動機に、司法改革が始まっていたので弁護士を買われ、消費者センターへ一緒に行くことで、友人に金額が返ってきたのです。その楽しさを味わったことでしょうか。勉強するようになったのは、3年生の夏から。学部を卒業後、ロースクールに入りまし

た。当時のアルバイトは龍谷大学の先輩方が代々引き継いでおられた京都府置所での受付を同級生から紹介を受けて、させてもらいました。ロースクール卒業の5月、新司法試験を初受験しましたが、見事に届き

ませんでした。翌年に再挑戦し、何とか合格しました。そして1年間、高知県で司法修習生として研修をうけ、11年12月から大阪北区のアップル法律事務所でお世話になってい

日本三大祭りのひとつといわれる「祇園祭」は、7月1日から31日までの1ヶ月間京都市内の中心部で開催されます。その中で最大のハイライトは、15から16日の「宵々山と宵山」及び17日の「山鉦巡行」でしょう。

この中でも特に華やかな「山鉦巡行」は、大きなものでは高さが25メートル以上、重さは12トンを超えるものまであり、大小32基が京都の目抜き通りを巡行するのですが、鉦ごとにそれぞれ違った音色や節回しのお囃子を伴ったので、大パレードとなります。

この時(財)山鉦連合会役員をはじめ、府や市の観光関係幹部と府警本部などが相談のうえ、一番大きく重たい鉦を試しに曳き、安全に曲がり停止できるなら、すべての鉦の巡行を決行しても良いということになりました。このとき、「月鉦」に指名が掛かったのです。失敗すれば工事が完成するまでの4、5年間は巡行が中止となる可能性が高まりました。

試行当日の朝のことです。四条通り室町界隈のその鉄板上には、たつぷりと水がまかれ、メディアなど多くの人々が息を

量も最大です。車輪の直径でも2メートルを超えるのはこの「月鉦」だけと言われています。要するに高さも重さも最大のものでこの「月鉦」なのです。また、大きいだけでなく「月鉦」は、天明の大火(1788年1月)や元治元年(1864年8月)の幕末の戦火も逃れました。そのため「月鉦」には、円山應挙の天井絵画や、月にちなんだ左甚五郎の兜の彫り物、また岩城清右衛門作の「源氏物語五四帖扇面散図」などが健在です。

1981年(昭和56)には、鉦の先端である

祇園祭と龍大生

シリーズ
龍谷大学の
歴史実証⑤
校友会事務局
増田省三

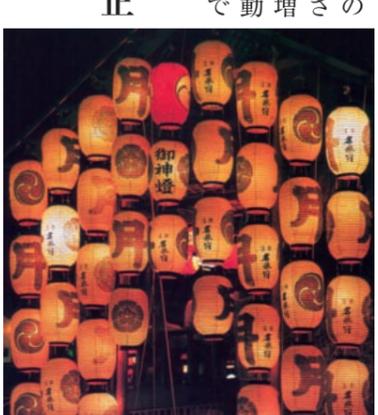
市内の各鉦町の町衆たちがそれぞれの鉦町ごとに自主運営を行います。が、「巡行」当日には、やはり人手が足りないため、学生アルバイトを募集します。この学生の募集は(財)山鉦連合会が行い、第二次大戦以後ずっと統括し、一部の鉦に希望者が偏ったりしないように、大学ごとに山鉦別に斡旋しています。

た例えば、長刀鉦は京都大学、函谷鉦は同志社、鶏鉦や菊水鉦は立命館と決められており、我が龍谷大学は「月鉦」だったのです。

一般に、くじ取らずとして毎年先頭を行く「長刀鉦」に人気が集ま

この時(財)山鉦連合会役員をはじめ、府や市の観光関係幹部と府警本部などが相談のうえ、一番大きく重たい鉦を試しに曳き、安全に曲がり停止できるなら、すべての鉦の巡行を決行しても良いということになりました。このとき、「月鉦」に指名が掛かったのです。失敗すれば工事が完成するまでの4、5年間は巡行が中止となる可能性が高まりました。

試行当日の朝のことです。四条通り室町界隈のその鉄板上には、たつぷりと水がまかれ、メディアなど多くの人々が息を



龍大生が曳く「月鉦」

市内の各鉦町の町衆たちがそれぞれの鉦町ごとに自主運営を行います。が、「巡行」当日には、やはり人手が足りないため、学生アルバイトを募集します。この学生の募集は(財)山鉦連合会が行い、第二次大戦以後ずっと統括し、一部の鉦に希望者が偏ったりしないように、大学ごとに山鉦別に斡旋しています。

た例えば、長刀鉦は京都大学、函谷鉦は同志社、鶏鉦や菊水鉦は立命館と決められており、我が龍谷大学は「月鉦」だったのです。

一般に、くじ取らずとして毎年先頭を行く「長刀鉦」に人気が集ま

この時(財)山鉦連合会役員をはじめ、府や市の観光関係幹部と府警本部などが相談のうえ、一番大きく重たい鉦を試しに曳き、安全に曲がり停止できるなら、すべての鉦の巡行を決行しても良いということになりました。このとき、「月鉦」に指名が掛かったのです。失敗すれば工事が完成するまでの4、5年間は巡行が中止となる可能性が高まりました。

大学と校友会を元気に 総勢91人が熱い議論

校友会全国支部長会 昨秋に京都で開催



28回目を迎えた「龍谷大学校友会全国支部長会」が12年11月3日、京都ロイヤルホテル&SPAで開催された。今回の参加者は海外3支部を含めて地域支部、職域支部、校友会本部役員、大学関係者の総勢91名。

最初に「大学が変わるなら、校友会も変わらなければならぬ」との三村峯男

教職員をつながりを深める改革を”など、多くの質問や意見があった。次に第2部では、校友会活動について討議が中心となった。6名の新支部長自己紹介のあと、支部活性化の取り組みとして、和歌山県海南・有田支部の地元行政とタイアップした支部活動「福井・石川・富山県支部の「北陸吹奏楽フェスタ」、大阪・北大阪支部の事例紹介が行われた。また、ハワイ支部10周年事業の報告や、30周年を迎える鹿児島支部の記念事業の概要(7面に記事)など、1、2部合わせて約4時間間にわたり、熱い議論が繰り返りひろげられた。なお、次回から全国支部長会は2年に1回の隔年開催となる。

2012年 ビジネスセミナー 「龍谷大学ビジネスミ ーティング2012」が

「龍谷大学ビジネスミ
ーティング2012」が
昨年の11月22日、ホテル
ニューオータニ大阪で開
催され、約120人が参加し
た。このイベントは、龍
谷大学を通して互いに交
流し、情報交換を密にし
て、卒業生のビジネスネ
ットワーク構築やビジネ
スマッチング、龍谷大学
との産業連携を目的とし
たもので、龍谷大学エキ
ステンションセンターの

取り組みのひとつであ
る。校友会もこの企画を
積極的に支援してきた。
3回目となる今回は、
まず赤松徹真学長の挨拶
のあと、「今、中小企業
経営者が考えておくべき
こと」を伸べる企業と苦戦
する企業を分ける1つの
違いとは」について、経
営コンサルティング大手
の(株)船井総合研究所・代
表取締役社長の高嶋栄さ
ん(80年済卒)が、約1



講演する高嶋社長

時間にならないうち
第2部では稲葉修(株)広
栄社社長が、「龍谷大学
との連携で出来た世界初
の三角つまようじ」と題
して、大学との産学連携
の成功事例紹介を行った。



会場から質問や相談が

龍谷ミュージアム



開館時間は10:00~17:00 (16:30ま
でに入館)。休館日=月曜日(祝日の場
合は翌日)他、展示替え等の休館。
事前にHPなどでご確認を。
TEL075-351-2500
http://museum.ryukoku.ac.jp

赤松徹真ゼミ創設30周年 祝賀会と記念出版ご案内

〈日時〉6月22日(土)午後3時より
〈会場〉大宮学舎・清和館
〈会費〉1万円(予定)
申込先=①お名前(旧姓)②入学年度
③連絡先(住所電話番号)を5月
20日までに、akamatsuzemi@yahoo.
co.jp のアドレスまで。
※赤松ゼミの出身者に限定させてい
ただきます。

新刊紹介



奪われた信号旗

長崎奉行所秘録・伊立
重蔵事件帖
指方恭一郎(85年文卒)

「銭の弾もて秀吉を撃
て」(ダイヤモンド社)
で第3回城山三郎経済小
説大賞受賞の指方恭一郎
(本名「日野真人」)さん

による書き下ろし時代小説。刃を落とした研刀刀
しか持たない単身赴任の
与力・重蔵。長崎から博
多、小倉まで探索の旅。
文庫本246頁・文藝
春秋・581円十税

江戸の仇

長崎奉行所秘録・伊立
重蔵事件帖
指方恭一郎(85年文卒)

「南無阿弥陀仏」の六
字を称えるのは、阿弥陀
様の「称えてくれよ!」
という願いによって突き
動かされている行為であ
り、この六字のお念仏を

われも六字の
うちにこそ住め
うたにこそ住め
お手々つないで
みな帰ろ
越智宣章(54年文卒)

あ懐かしい童謡は仏
教讃歌だったと、元読売
新聞記者の越智さん。23
年(大正12)に発表され、
90年間もうたい続けられ

た「夕焼け小焼け」(詩・
中村雨紅、曲・草川信)は、
仏教の本質がすべてうた
い込められているという
韓国の仏教学者の指摘を
紹介する。
四六判48頁・探究社・
500円十税

動じない心

宮城泰年(54年文卒)

不老不死は人類の夢だ
が、いつまでも生きたい
という執着の表れとも言
える。そうして生まれた
延命治療という技術が、
「死」を単なる機能停止
のように扱い、自然の恵
みと尊敬としての「死」
を奪っている。「生」も
恵みであり、「死」もま
た恵みである。「死」を
受容することで、この

「生」を失らせ、生かす
ようにしたいー本文「老
いと死が生を生かす」一
より。
四六判上製192頁・
講談社・1500円十税

語り合い尋ねる

「聞法の世界」
長野了法(73年文卒)

滋賀県米原市の法輪寺
住職をつとめる長野さん
が、自坊の仏教壮年会10
周年を記念して、同会報
誌に掲載された法話28編
を収録したのが本書。
豊富な話題をもとに、
仏教や浄土真宗の教えが
わかりやすく説かれてい
る。
四六判128頁・
法輪寺(米原市宇賀野)

ご結婚おめでとうございます

校友会長名、学長名で祝電
を打ちます。受付は、校友
会事務局まで。
♥は校友同士の結婚

氏名 卒年 式月日
前久保直人 09 済 9 22
三木 琢己 00 文 10 6
三宅 潤 02 営 10 6
黒川友紀子 03 営 10 6
田中 泰裕 03 営 10 6
大上亜矢子 06 社 10 13
平松 健 08 営 10 13
池田 康子 07 短 10 13
金浦 隆雄 02 法 10 20
田野 恵美 02 法 10 20
上田 勲 05 社 10 21
喜納 温子 05 社 10 21

島田 貴史 98 法 11 4
伊藤 徳子 99 法 11 4
清水 俊宏 07 営 11 11
入江 雅子 07 営 11 11
門野 麻美 09 営 11 17
鹿浦 法之 09 文 11 17
藤原 崇雅 08 営 11 23
清水沙耶加 07 法 11 24

渡辺 浄志 01 文 11 25
角谷 理紗 08 法 11 25
若松 直也 08 営 12 8
花木 千尋 08 文 12 8
林 昇平 07 営 12 9
岡田 和幸 01 文 12 15
目黒 潔 05 文 12 16
池田 貴彦 08 営 12 23
南 友喜子 09 社 1 6
中島 唯 09 文 1 19
徳地 宏紀 03 済 2 2
河野 里佳 06 短 2 10
脇 大悟 03 文 2 11
谷口 智子 10 院 2 11
若林 秀和 09 文 2 16
森 武士 04 理 2 16
朱雀 奈美 05 社 2 20
石丸 涼道 09 文 2 23
安明 真美 10 文 2 23

今春退職される先生がた
2013年3月31日
〈大学院法務研究科〉
岡本 詔治 教授

校友会長の任期を変更
13年度期首から龍谷大
学校友会長および役員
の任期が、従来の2年間
から3年間に延長され
ることが、校友会理事
会で審議・決定されま
した。

渡辺浄志さんと角谷理紗さん

川端 正久 教授
〈社会学部〉
西山けい子 教授
〈国際文化学部〉
権 五定 教授
スタンパー パラ 准教授
〈政策学部〉
坂本 勝 教授

放送大学滋賀学習セ
ンターに龍谷大学関係
者20人以上のお申込み
の場合、特別割引が適
用されます(お問合せは
0755450362)

校友会長の任期を変更
13年度期首から龍谷大
学校友会長および役員
の任期が、従来の2年間
から3年間に延長され
ることが、校友会理事
会で審議・決定されま
した。

校友会長の任期を変更
13年度期首から龍谷大
学校友会長および役員
の任期が、従来の2年間
から3年間に延長され
ることが、校友会理事
会で審議・決定されま
した。

校友会支部を全国に

賛同の卒業生はぜひ協力を!

地域支部設立へ

校友会員数(卒業生数)

は、本年3月末の時点で約16万5千名におよびます。しかし、都道府県すべてに校友会支部がありません。卒業生同士の交流や在学生の就職支援・サークル活動支援などを考慮し、大学の発展に結びつけるためにも、卒業生の「絆」の強化を図らなければなりません。そのためのご支援をお願いいたします。

以下に支部設立にご協力いただける方を、探しています。

京都支部 京都市内に在住またはお仕事をされている校友で、支部設立を手伝ってほしいという方が、すでに何人かに手をあげていただいています。できれば女性、卒業間もない若い卒業生のご参加をお待ちしております。

島根県支部 最新の支部として鳥取県支部が12年2月に誕生しましたが、卒業生在住者が島根県には多くありません。山陰方面の連携強化拡大を目指し、大学と島根県とが就職支援協定を締結しました。このタイミングに校友会支部も設立を図りたいと考えています。

宮崎県支部 九州地域では在住者が少ない宮崎県ですが、結束を固めていただく校友のご協力をお願いいたします。

東北方面 東日本大震災の復興支援に大学も学生も取り組んでいます。校友会ではぜひ支部の設立に向けての情報を高めてゆきたいと思っております。

職域支部設立へ

龍谷大学は、教育学専攻を持つ大学として、悠久の歴史を有しています。全国の小・中・高の公立私立を問わず教壇に立つ教員方や教育委員会に従事する校友の横断的な支部として現在ある次掲載の「教龍会」を発展拡大

立に向けての情報力を高めてゆきたいと思っております。

させて認定支部の設立を。法曹支部 卒業生で弁護士・判事・検事をされている方々による支部の設立によって、法律相談などで地域に貢献してほしいという声があります。ぜひご協力下さい。

支部設立については、いづれも校友会本部事務局(075-6452015)までお問合せいただくと共に、ホームページもご覧ください。

「教龍会」参加を

教壇で活躍する龍谷大学卒業生の会

「教龍会」は、「教壇で活躍する龍谷大学卒業生の会」として95年(平成7)に発足し、龍谷大学を卒業・修了し、現在教壇に立っている人を主な会員としています。同じ学舎で学んだ者同士が教育実践の交流を行い、親



深草での「教龍会」

睦を深めることを会の趣旨とし、気軽に交流できる場を提供することを目的としています。会では機関誌年1回発行の「黒板を背にして」と共に、2年に1回総会・実践交流会を深草学舎で開催し、教員志望の現役の学生を含めて親睦をはかっています。12年8月には第6回を開催し、70名あまりの参加のもと盛況に終わりました。

これまでに「教龍会」は大学の教職課程教室に事務局をおき運営をしてきましたが、会のさらなる発展を考え、今後は校友会支部組織として活動していく予定にしています。入会の希望、お問い合わせは「龍谷大学教職センター」山崎(075-6451374) / fax 643-5021)まで。

全興寺の境内に設けられた「小さな駄菓子屋さん博物館」や「地獄堂」などを見学。また、融通念佛宗大本山・大念佛寺では、本学卒業生であり融通念佛宗管長・総本山大念佛寺法主であられる倍巖良舜現下(44年文卒)にご挨拶をいただいた。当日は大阪・中央支部、北大阪支部からの参加もあり、約40名の校友が親睦を深めた。(奈良龍大会事務局)

チームを応援しました。そのためでしょうか、同チームは歴代2位の32位と大健闘でした。後日、私たちに多数の「応援ありがとう」のメッセージが寄せられ、地元新聞でも応援風景が大きく報じられました。(荻野昭裕)

卒業生が母校を巡るキャンパスツアー

現役龍大生のアドミッションサポーターがご案内

オープンキャンパスの学生スタッフ「アドミッションサポーター」による案内で、重要文化財の大宮キャンパス本館をはじめ、深草キャンパスや瀬田キャンパスを巡るツアーが校友会地域支部などで行われています。

ムカミンク・デーでは石川県支部、12月1日(土)には尼崎市役所支部(龍翔会)のみなさんが、懐かしいキャンパスを巡りました。久しぶりの母校を、現役の学生さんたちと案内していただくことで、タイムスリップして自身の学生時代に重ねて



大宮キャンパスで石川県支部の校友。左がサポーター学生

みたり、大きく変貌を上げたキャンパスに驚いた龍大生は今も昔も変わらず、そして、しっかりと説明してくれる姿勢に頼もしさを感じたという先輩がたの感想。

このツアーを通しての現役龍大生との交流は、とても意義深い機会です。アドミッションサポーターによる母校巡りのご相談は、校友会事務局までお願いします。

地域支部のご紹介

大阪・北大阪支部

総会と「大谷探検隊とシルクロード講演会」

12年10月7日、茨木市のスカイホールで第3回の支部総会が開催されました。続いて龍谷ミュージアムの入澤副館長による講演「大谷探検隊とシルクロード」に移り、インド・アジャンタ石窟を日本人で初めて調査した藤井宣正隊長など、同探検隊による偉大な功績が語



大阪、中央支部では12年10月14日13時より、素晴らしい秋晴れの中、大阪のメインストリート御堂筋カッポ(歩行者天国)に合わせ、北御堂・津村別院で第2回本町音楽祭を開催した。今回は4バンドの参加があり大いに盛り上がり、初参加の相愛中学・高校の吹奏楽部の演奏に人気が集まった。のべ150余名の入場者をはじめ、銀杏の色づく御堂筋をカッポされる市民へ、龍谷ミュージアムのチラシなどを支部理事が配布し、

なお、北大阪支部では4月に花見会やゴルフコンペ、6月にバスツアーなどが開かれる。(同支部HP参照)

大阪・中央支部

第2回本町音楽祭と「龍大落語会」開催



校友会奈良県支部(奈良龍大会)では、12年12月1日に、大阪市平野区の「ひらの町ぐるみ博物館」と、融通念佛宗本山・大念佛寺を訪ねる親睦交流会を行った。平野の街全体が見所の「ひらの町ぐるみ博物館」では、

また2月16日には、天満天神繁昌亭で「龍大落語会」を開き、多くの校友や家族が参加した。(山崎支部長記)

和歌山の海南・有田支部では1月13日、聖護院門跡を訪れると共に、当日、京都で開催の全国都道府県対抗女子駅伝で、地元和歌山県チームを応援しました。

当日午前中は、聖護院門跡の宮城泰年門主(54年文卒)のご協力により、同門跡の光格天皇御所や書院を拝観し、宮城門主のご法話を拝聴しました。



その後、校友会員特製のカレーとおでんをふるまったところ、とても喜んで食べてくれました。後輩の龍大生のためになることができ、たいへん実りのある会となりました。(事務局 古本竜太)

地域支部設立で周年事業

大分県 鹿児島県 大阪・中央 講演会や吹奏楽演奏会など

大分県支部 30周年記念 五木寛之氏講演会

講師 = 五木寛之氏
日時 = 5月25日(土)13時30分~15時
会場 = 大分市コンパルホール (大分市府内町1-5-38)

鹿児島県支部 30周年 吹奏楽部コンサート

出演 = 龍谷大学吹奏楽部
鹿児島情報高校吹奏楽部
日時 = 8月31日(土)13時開演予定
会場 = 宝山ホール(鹿児島県文化センター・鹿児島市下山町5-3)

大阪・中央支部 10周年で懇談会とイベント

日時 = 5月18日(土)17時~
会場 = 大阪キャッスルホテル (大阪市中央区天満橋京町1-1)
※詳細は同支部HP参照

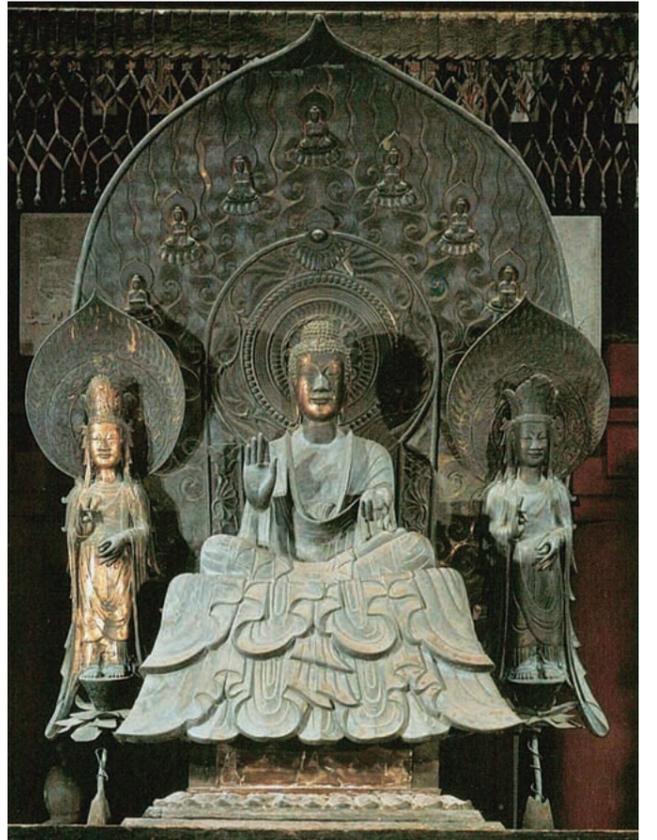
仏教に学ぶ

私はいわゆる「団塊の世代」です。当時の大学生は、とにかく元気がありました。大学院の修了式は、学園紛争のあおりを受け中止でした。学部と大学院の指導教授は、武邑尚邦先生で、私の研究テーマは「勝鬘経」と、その注釈書である聖徳太子の「勝鬘経義疏」でした。

指導教授は武邑先生でしたが、同じ仏教学の光川豊先生や武内紹晃先生、土橋秀高先生のゼミや講義にも、ひんぱんに顔を出していました。キャンパスでキャッチボールをしていたときでした。通りかかった芳村修基先生がいきなり上着

いろいろと調べてみる
と、親鸞聖人の「廟窟偈」と深く関わる言葉だ

日本人を支え続けた「和」の精神



法隆寺金堂「釈迦三尊像」の光背には「尺寸王身」像とあり、同じ身丈の聖徳太子をモデルとした釈迦像で、太子の病氣平癒を願い造りはじめられ、太子薨去の翌年、この像は623年に完成したと記されている(国宝)写真下は本坊中庭

いろいろなことがわかりました。日本の地域は大乗仏教が栄えるのにふさわしい地であるという意味です。「大乘」とは、字のごとく大きな乗り物です。「大乗仏教」と申します。よりすぐられた少数の人ではなく、ありとあらゆるものを仏教の究極の覚りの世界へと導いて下さるという教えです。

「廟窟偈」とは、親鸞聖人が19歳のとき、聖徳太子が葬られているお墓・磯長御廟(叡福寺)大阪府南河内郡太子町)で3日間、参籠されたとき、夢の中に聖徳太子が現われ、「あなたの命が終わるとき、すみやかに清らかな浄土に往生することができるであろう」と、この「廟窟偈」と呼ばれる一連の偈文(漢文のうた)を、お告げになったと言います。

「十七条憲法」を制定

大陸の先進文化を伴った仏教が、6世紀末から7世紀にかけての受容派と排仏派の対立を乗り越え、わが国に導入されました。その「主役」であったのが推古天皇と、この女帝の摂政であった聖徳太子でした。太子はいち早く遣隋使を大陸に派遣して先進文化を取り入れると共に、身分の違いを超えた人材登用を目指す

「冠位十二階」や、仏教を基礎とした国づくりを進める「十七条憲法」を制定されます。「和をもつて貴しとなす」という有名な文言が、この憲法の第一条に登場します。「和」というのは、中国の言葉、いわゆる外国語です。「広辞苑」には「過不足なく、よろしきになうこと。おだやかなこと。仲よくすること」と、多くの意味が紹介されています。また、「なごむ」「やわらぐ」「あまなう」とも表現します。聖徳太子のこの「和」という言葉が、その後の

日本人の精神文化に多大な影響を与えてきました。つまり、今日に至るまで日本人の国民性、精神性は聖徳太子の「和」の精神に、そのルーツを求めることができるのではないかと、私は思っています。

太子が大陸から仏教を導入されましたが、かと言ってそれ以前からの神や祖先に対する信仰を、一切否定されたわけではなく、尊ぶ精神を基礎に、「和」の文化が形成されていったのです。

11年3月11日、あの悲惨な大震災が東北を中心に襲いかかりました。人々は物品を略奪するどころか、互いに助け合いつながりながら被災生活を送る姿が映像となつて駆け巡り、世界中の人々に大きな感動を与えました。こうした日本人の行動の背景に、聖徳太子の「和」の精神をうかがうことができるでしょう。太子の「和」の教えが、その後も営々と多くの人々によって受け継がれ、日本人の国民性が形成されていったのではないかと、私はそのように自負しています。

山本総本山 法隆寺管長 大野 玄妙



大野玄妙(おおの・げんみょう) 1947年(昭和22)、大阪生まれ。上宮高校を経て70年(昭和45)龍谷大学文学部仏教学科卒業。72年に同大学院修士課程修了。77年に福生院住職。82年に聖徳宗庶務部長、法隆寺執事を経て99年から現職。主な著書に「新版古寺巡礼 奈良 法隆寺」(立松和乎氏と共著。淡交社など)。

弘法大師や伝教大師をはじめ、平安・鎌倉時代の祖師がたもそうでした。だからこそ聖徳太子は2年半前。店内はスペイン文化の香りがたなびく。妹背さんは、これまでに何度かスペインを訪れ、各地を食歩いた。「ワインを中心としたお酒に合わせた料理を、小刻みに出すのが当店のコンセプトです」

「校友タウン情報」というコンテンツがあります。このコンテンツでは、あらゆる業種の校友情報を掲載しています。これだけのもは、他大学にはありません。とくに龍谷大学校友会には、日本最多の宗派を超えた寺院関係者がおられます。この龍谷大ならではの多様な情報も発信します。また、総合大学として発展してきた今、多くの企業の経営者やお店のオーナーが活躍されています。4月のリニューアル時には、これまでに「校友会報」に紹介させていただいた寺院・会社・お店などの情報を中心に掲載しましたが、これからは皆様から投稿していただく、近い将来には、在学生にも龍谷大学関係者以外からも注目されるホームページを目指しております。

そのための、皆様からの情報を校友会事務局までどうぞお寄せいただきませう、よろしくお願ひ申し上げます。(Y)

スペインのバル(居酒屋)とレストランを兼ねた「テルヌーラ」(和訳「慈愛」のオーナーシェフ・妹背源忠さんは00年(平成12)社会学部卒。口羽益生ゼミ生であった。

「卒論は、ジブシー」と差別されてきたヨーロッパのロマ族です。EU



妹背源忠さん



統合によりロマ族がどのような影響を受けたかに

校友のお店
スペイン料理
テルヌーラ
TERNURA

スペインの居酒屋料理 お酒にあわせた本場の味 ランチメニューも充実

ついででした。妹背さんはヨーロッパの文化や歴史に興味を持ち、学生時代はずっと京都の南フランス料理店でバイトし、ここで料理の基礎を学んだ。卒業後、食と文化のつながりを追いつめた結果、8年前にスペイン料理店を開いた。現在の店に移ったの



名物のパエリア

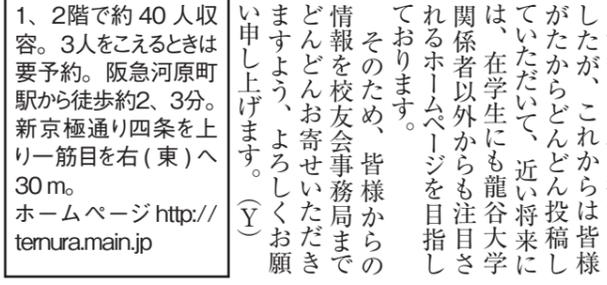
12時から15時までのランチは、自家製パンとたっぷり野菜タパスがついた限定プレート(1000円)。15時から閉店まで、「バル」メニューとなる。スペインのバル定番の小皿料理タパスは400円から、アンチョビとポテト

グラタン600円、スペイン産生ハム700円、鶏モモ肉のコンフイ1200円、ブイヤベース2人前3200円、パエリア1〜2人前2000円、グラスワイン赤白600円をはじめ、スペイン産ワインを中心に多彩なお酒が用意されている。普段は1階のみだが、休日前予約があれば2階も開放される。1階で約22人、2階で約20人の席が用意されていて、3人をこえる場合は予約していただきたい。

「校友タウン情報」というコンテンツがあります。このコンテンツでは、あらゆる業種の校友情報を掲載しています。これだけのもは、他大学にはありません。とくに龍谷大学校友会には、日本最多の宗派を超えた寺院関係者がおられます。この龍谷大ならではの多様な情報も発信します。また、総合大学として発展してきた今、多くの企業の経営者やお店のオーナーが活躍されています。4月のリニューアル時には、これまでに「校友会報」に紹介させていただいた寺院・会社・お店などの情報を中心に掲載しましたが、これからは皆様から投稿していただく、近い将来には、在学生にも龍谷大学関係者以外からも注目されるホームページを目指しております。

そのための、皆様からの情報を校友会事務局までどうぞお寄せいただきませう、よろしくお願ひ申し上げます。(Y)

テルヌーラ
京都市中京区新京極通四条上中之町565-31
☎075-213-0220
営業時間 12~15時はランチメニューで、夜は23時まで。定休日=第3水曜。
1、2階で約40人収容。3人をこえるときは要予約。阪急河原町駅から徒歩約2、3分。新京極通り四条を上り一筋目を右(東)へ30m。ホームページ http://temura.main.jp



編集後記

校友の皆様情報を、お寄せ下さい。ホームページのリニューアルは「校友には少なうても月に一二度は見てももらえるものになんては」との思いで、校友会事務局と広報部会を取り組んでいます。

他の大学にない視点でチャレンジし、今までのような一方通行型の情報発信ではなく、校友からどんどん情報を寄せていただける「情報共有型」のサイトにするのが最大のテーマです。

今回の企画のひとつに「校友タウン情報」というコンテンツがあります。このコンテンツでは、あらゆる業種の校友情報を掲載しています。これだけのもは、他大学にはありません。とくに龍谷大学校友会には、日本最多の宗派を超えた寺院関係者がおられます。この龍谷大ならではの多様な情報も発信します。また、総合大学として発展してきた今、多くの企業の経営者やお店のオーナーが活躍されています。4月のリニューアル時には、これまでに「校友会報」に紹介させていただいた寺院・会社・お店などの情報を中心に掲載しましたが、これからは皆様から投稿していただく、近い将来には、在学生にも龍谷大学関係者以外からも注目されるホームページを目指しております。

そのための、皆様からの情報を校友会事務局までどうぞお寄せいただきませう、よろしくお願ひ申し上げます。(Y)